

産科婦人科コース

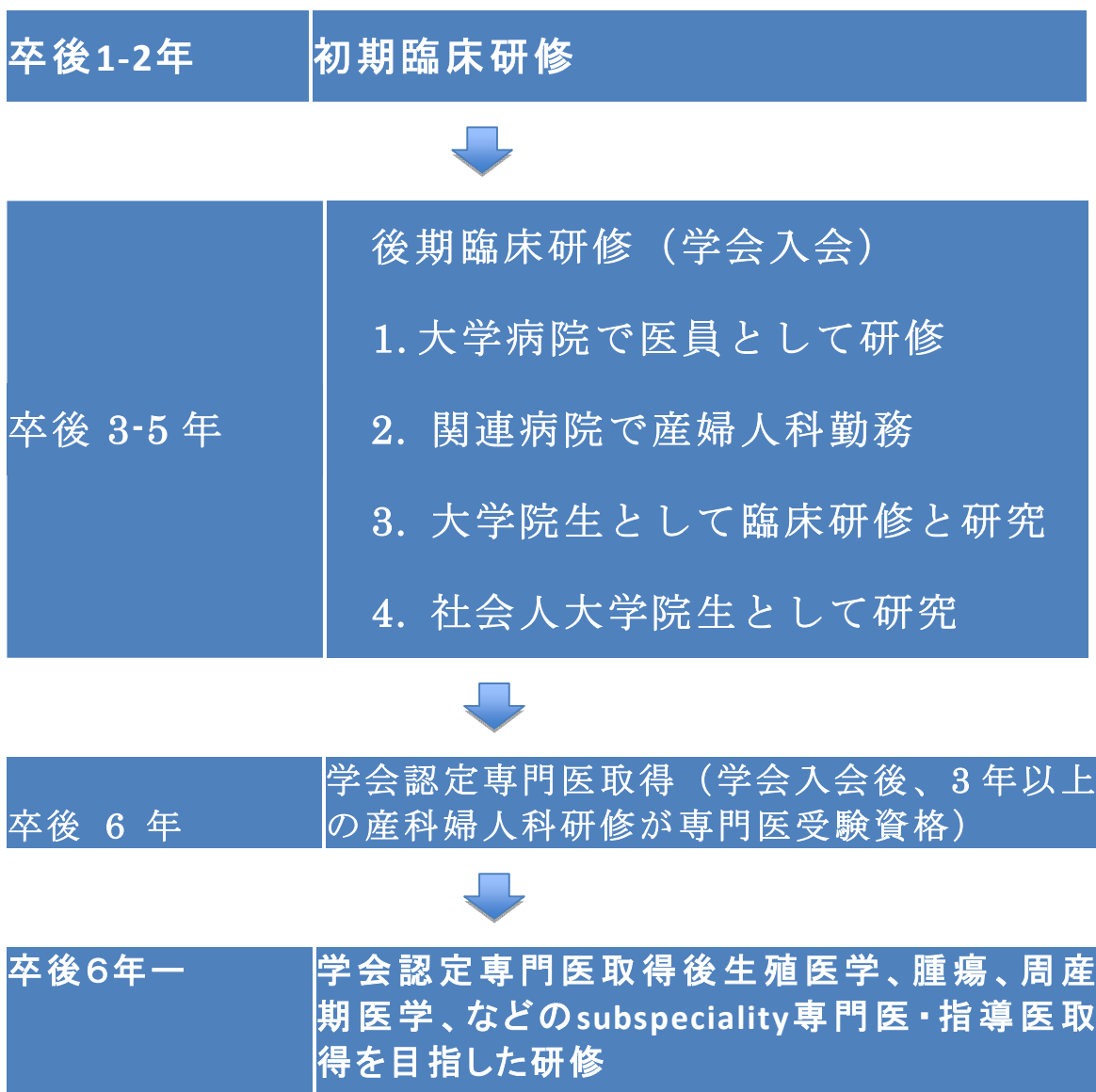
(1) コースの全体像

産科婦人科の後期研修は日本産科婦人科学会専門医取得を目的としている。その過程として、①専門医コースと②大学院コースがある。

① 専門医コースでは、産科婦人科領域の周産期（産科）、腫瘍、不妊内分泌（生殖医学）、感染症・一般を幅広く研修する。また、専門分野を見極め、専門医取得後の subspeciality の方向性を決めるのも可能である。また、大学院進学の有無によらず、希望者は基礎・臨床研究を行い、医学博士の取得が可能である。

② 大学院コースでは、research mind の育成に主眼をおくために、基礎・臨床研究と平行して産科婦人科各領域全般の疾患を経験する。専門医取得の条件を満たしながら、学位論文を修業年限内に完成する。いずれのコースも研鑽を積むため、関連病院をローテートし各病院の専門分野を研修することもできる。

産科婦人科研修のながれ



(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	産科婦人科	産科婦人科	14名	産科婦人科学会専門医の取得あるいは、医学博士取得を目指す。	10名	4年
岐阜県総合医療センター	産婦人科	産婦人科学	5名	産科婦人科学会専門医、周産期専門医の取得	制限しない	
独立行政法人国立病院機構長良医療センター	産科	周産期	6名	周産期専門医の取得	制限しない	
岐阜市民病院	産婦人科	産婦人科	5名	産科婦人科学会専門医、内視鏡手術の取得	制限しない	
JA岐阜厚生連中濃厚生病院	産婦人科	産婦人科	3名	産婦人科学会専門医の取得	制限しない	
高山赤十字病院	産婦人科	産婦人科	3名	産科婦人科学会専門医	制限しない	
				受入人数	10名	

(3) コースの実績

産科婦人科関連の専門医(日本産科婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会専門医、日本生殖医学会指導医、日本内分泌学会専門医(産婦人科)、日本周産期・新生児学会専門医、日本東洋医学会専門医など)の取得が可能である。

また、社会人大学院生として、夜間あるいは空いた時間に研究に従事し、臨床と平行して研究に携わることも可能である。

(4) コースの指導状況

日本産科婦人科学会専門医13名、日本婦人科腫瘍学会専門医4名、日本生殖医学会指導医2名、日本内分泌学会専門医(産婦人科)2名が指導に当たっている。専門性を極めるため、大学病院のみならず、関連病院での研修も行っている。不必要を宣言しない限り、専門医および学位取得ができるように指導体制が確立されている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本生殖医学会、日本周産期・新生児学会
資格名	日本産科婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会専門医、日本生殖医学会指導医、日本周産期・新生児学会専門医
資格要件	日本産科婦人科学会専門医:学会入会歴5年以上、認定施設での3年以上の研修。日本婦人科腫瘍学会専門医、日本生殖医学会指導医、日本周産期新生児学会専門医:日本産科婦人科学会専門医取得後それぞれの専門研修と学会・論文発表
学会の連携等の概要	
<p>本コースで行われる研修内容は学会が規定する研修内容に合致しており、それぞれの学会の専門医（指導医）取得プログラムとの連携がなされている。</p>	